

令和元年度 第2回鯖江市行政評価委員会 会議録（要旨）

日時：令和元年12月2日（月）

19：00～20：45

会場：市役所3階会議室

出席者：井上委員、落合委員、杉森委員、千葉委員

鯖江市：斉藤政策経営部長、めがねのまちさばえ戦略課 小谷主任

商工政策課 乙坂課長、酒井参事、にぎわい推進室 田中室長、高橋参事

1 開会

2 外部評価実施

① さばえものづくり博覧会開催事業（所管：商工政策課）（19：00～19：55）

＜概要説明＞（乙坂課長）

◆事務事業調書および補足資料に基づき概要説明

＜質疑応答＞

委 員：多額の会場設営費をかけて、今回会場レイアウトを一新したが、昨年よりも来場者数が少なくなっている。来年度に向けて事務改善する必要はないか。

所管課：多額の会場設営費がかかった理由として、今年度から企業ブースのデザインを洗練されたものに統一したためです。このブースは再利用できるため、来年度以降は会場設営費の削減を図れる。また、今年度、多額の会場設営費がかかったため、広告宣伝費にお金をかけることができず、テレビスポットを行うことができなかった。来年度以降は、広告宣伝費に例年並みに費用をかけたい。

委 員：平成29年度の来場者数が極端に少ない理由は何か。

所管課：台風の接近に伴い、博覧会を中止した日があったためです。

委員長：成果指標の来場者数が16,000人と高い目標値となっているが、その理由は何か。

所管課：来場者数が15,000人ほどの時期があったため、成果指標の来場者数が16,000人になったと思っている。

委員長：出展者が年々減少しているということだが、最近はどのくらい出展者が減少したか。

所管課：昨年と今年を比較すると、出展数は1事業所減少した。イベントのマンネリ化により、出展に魅力を感じないという意見があるが、今年度からイベントを一新したため、出展に魅力を感じ、来年度以降は出展者が増加することを期待している。

委員長：来年度は、ブースの再利用により会場設営費が削減できると言っていたが、予算総

額を減らす予定はあるのか。

所管課：今年度、イベントの広報が不十分であったという意見も聞いており、来年度の広告宣伝費には従来通りの予算額を配分する予定であるため、来年度の予算額は削減しない予定です。

委員長：中学生や出展者、関係者以外の来場者数は把握しているか。

所管課：施設内にカウンターを4か所設置し、来場者数を集計しているが、中学生や出展者、関係者以外の来場者数を把握するのは難しい。10月25日初日ですと、2,800人程度が純粋な来場者になるのではないかと。

所管課：出展者が減少している要因の一つとして、「RENEW」というイベントが同月に開催されるが、このイベントに出展する業者も多くおり、同月に連続してイベントに参加するのはつらいという声がある。ものづくり博覧会の開催時期を見直す必要があるのかもしれない。

委員：今回、多目的ホール内に設置された体験コーナーが分かりづらかった。呼び込みをしてもらったほうが体験コーナーを利用する人が増えるのではないかと。

また、RENEWやIOFTなどさまざまな産業関係のイベントがある中、市が多額の費用を負担するこのイベントについて、費用対効果はどの程度か。

所管課：市民の方に自社の技術を直に見せる機会を得ているのと、自社の技術を広く見せることにより、商談につながったり、各社間のマッチングの場になっている。

委員：出展者にとってのメリットは何かあるか。

所管課：実際、メリットを感じている出展者と、そうでない出展者がいると感じている。

毎年来場していても、新しい発見が常にあると感じており、出展に対するメリットがあると思う。

<方向性判断>

委員長：特に異論がなければ、内部評価同様、「事務改善」で良いか。(委員一致)

付帯意見として

- ・集客につながるよう、イベント広報を工夫していただきたい。
- ・産業関係のイベントが10月に多く開催され、出展者や来場者の減少に影響を与えている現状に鑑み、実行委員会においてイベントの開催時期を協議し、産業関係のイベントの開催時期の調整に努めていただきたい。

② つつじまつり開催事業（所管：にぎわい推進室）（19：55～20：45）

<概要説明>（田中室長）

◆事務事業調書および補足資料に基づき概要説明

<質疑応答>

委員長：先日開催された検討会を受けて、事業の大きな見直しはあるか。

所管課：先日開催された検討会での意見の中で、めがねフェスの認知度が高まった理由として、めがねに特化したイベントにしたことから挙げられ、つつじまつりにおいても、つつじに特化した見せ方やフードを考えてはどうかという意見があった。

委員：西山公園の歴史をもっとPRする必要があるのではないか。

所管課：現在、パンフレットの表紙に西山公園の歴史を記載するとともに、鯖江おせつ会がシャトルバス内でも歴史を含めた鯖江市のPRを行っている。今後、パンフレットへの西山公園の歴史の記載をもっとわかりやすいようにしていきたい。

委員：イベント来場者に寄付を募って、収入を増やしたらどうか。

所管課：現在、西山動物園には募金箱があり、来場者に対して寄付を募っている。
西山公園を維持するにあたって、多額の費用がかかっているため、イベント来場者に寄付を募ることなども考えたほうがいいのかもかもしれない。

委員：芝生広場以外につつじのロケーションを座って楽しめる場所がない。また、つつじまつり会場から街なかに誘客するような仕掛けの充実は図らないのか。

所管課：芝生広場の本部テントの場所に、休憩スペースのテントをはって、休憩場所を確保しようかという話が出ている。

街なかへの誘客については、本町4丁目から本町3丁目にかけて通行止めを行い、街なかに露店を出していただいた時期もあったが、現在は行っていない。また、警察の指導により、現在の本町3丁目の通行止めをやめ、本町1丁目と本町2丁目の通行止めを行う予定です。

シャトルバス内や西山公園エントランス広場のバス停において、街なかの案内を行っているが、つつじまつり会場と離れているため、街なかへの誘客がなかなか難しい。

委員：子どもが遊べるところが街なかにあれば、お客さんが街なかに流れるのではないか。例えば、レッサーパンダの足跡やクイズラリーなどがある。

委員：つつじまつりは3日から5日までの3日間で開催されるが、最終日の5日は、つつじまつり会場内のイベントが少なかったり、街なかでのイベントが開催されなかったりするため、さみしい。最終日の5日のイベントが充実していると、来場者数がもっと増えるのではないか。

所管課：来年は、めがね産地ふれあいコーナーを最終日も開催してもらえるよう、鯖江商工会議所をお願いしている。一方、街なかのイベントを3日間連続開催するのは、商店街にとって負担が大きくなるため難しい。

委員長：商店街はどのような協力をしているのか。

所管課：商店街においては、つつじまつり会場で休憩できない方々に休んでいただくというおもてなしに注力していただいている。また、つつじまつり会場には子どもがゆっくり遊べる場所があまりないため、街なかにおたのしみ広場を設置し、はたらく自

自動車展示などを企画するなど、子どもが遊べる場所を設置していただいている。

委員長：検討会において、街なかエリアについてどのような話がなされてましたか。

所管課：検討会においては、街なかエリアのことがあまり話題として挙がらず、西山公園のことが話題の中心となった。

委員：街なかエリアの企画は、来場者に対するおもてなしが中心となっているが、商店街はあまり歓迎していないのか。

所管課：街なかエリアの企画は、商店街自身が発案し実施しており、商店街の自発的な取り組みを実行委員会が支援している。

委員長：つつじまつりの来場者数を今後も増やす取り組みを進めていくのか。

所管課：現在の来場者数であっても、お客さんが会場から溢れんばかりの状況にある。シャトルバスや道の駅西山公園もパンクの状況にあり、これ以上お客さんを受け入れることは難しい。

来場者数は減らないよう、企画の内容を充実していきたい。

<方向性判断>

委員長：特に異論がなければ、内部評価同様、「維持」で良いか。（委員一致）

付帯意見として

- ・「さばえ狂歌」に関する記念碑をパンフレットに明示するなど、イベントにおいて西山公園の歴史をこれまで以上にPRしていただきたい。
- ・他の事業で行っている手法を参考にしながら、財源の確保に努めていただきたい。
- ・商店街と引き続き連携をとりながら、街なかへの誘客を進めていただきたい。

3 閉会

<外部評価報告書について>

委員長：報告書案を皆様に事前にお示しさせていただき、特に異論がなければ、その内容をもって報告書として、委員長と副委員長から市長に報告させていただきます。

<市長への報告について>

井上委員長、落合副委員長両名にて市長へ報告書提出

日時：令和元年12月27日（金）14：00～